

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」  
技術開発に関する研究集会

日時：2017年3月10日（金）13:30～16:00

場所：東京大学地震研究所1号館セミナー室(2F)

内容

- 趣旨説明 渡辺俊樹（名古屋大学）
  
- 技術開発に関する話題提供と情報交換
  - 短スパン伸縮計の開発と初期の地殻変動連続観測記録の活用 加納靖之（京都大学防災研究所）
  - 空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発 松島 健（九州大学）
  - 小型絶対重力計と高温地震センサー、KAGRA伸縮計の開発の現状 新谷昌人（東京大学地震研究所）
  - 海底地殻変動観測の最近の成果（仮） 田所敬一（名古屋大学）
  - 海底地震観測の最近の進展（仮） 篠原雅尚（東京大学地震研究所）
  - 機動的な海底地震・地殻変動観測の高度化 塩原 肇（東京大学地震研究所）
  
- 討論
  - 現在の技術開発における課題
  - 将来の技術開発の目標や新技術の提案
  - ユーザーサイドからの要望・提案
  - 次期計画における技術開発課題の進め方について
  - その他